

Title	ModedePapierIII : Courbure
Author(s)	原田, 純子
Citation	デザイン理論. 2005, 46, p. 190-191
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/53224
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

Mode de Papier III

— Courbure —

原田純子／神戸文化短期大学



図1 作品A写真

■ 作品A ■

■ 直平面の紙を曲げて凹凸を作ると波打った曲面が穏やかで優しいイメージの立体的な模様を形成する。また、紙を曲げて輪にしたり、螺旋状に巻き付けたりすると紙そのものの弾力により、自然なフォルムの立体となる。

そのような“Courbure — 曲げる”造形効果を服飾作品の上で表現した。

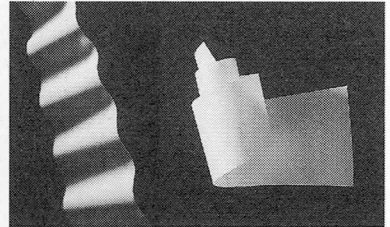


図2 作品Aアイデアソース

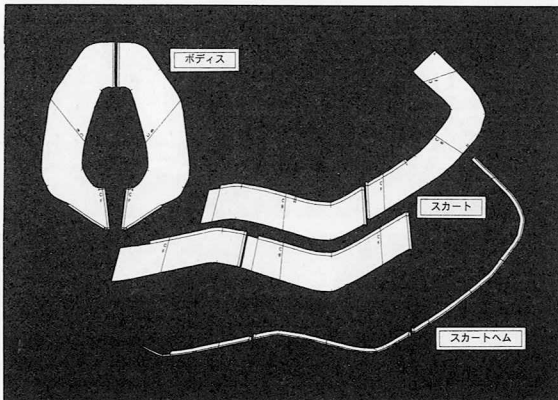


図3 作品Aパターン

■材料

和紙（生成）[93×56cm]：4枚

和紙（茶）[93×58cm]：2枚

オープンファスナー [19cm]

：1本

ファスナー [60cm]：1本

絹ミシン糸 [50番]

紙は「曲げる」「切る」「折る」などの操作によって様々なフォルムを作り出す。特に“Courbure — 曲げる”技法に着目し、シルエットやディテールの計画、パターン設計などの各段階においてその特徴を優先的に盛り込み、新しい発想の服飾デザインの展開例を示そうと試みた。古くは衣服材料として用いられた例のある紙子和紙を素材とし、ミシン縫製、アイロン仕上げの工程を踏み、実際に着用可能な現代的なモード作品の製作に取り組んだ。

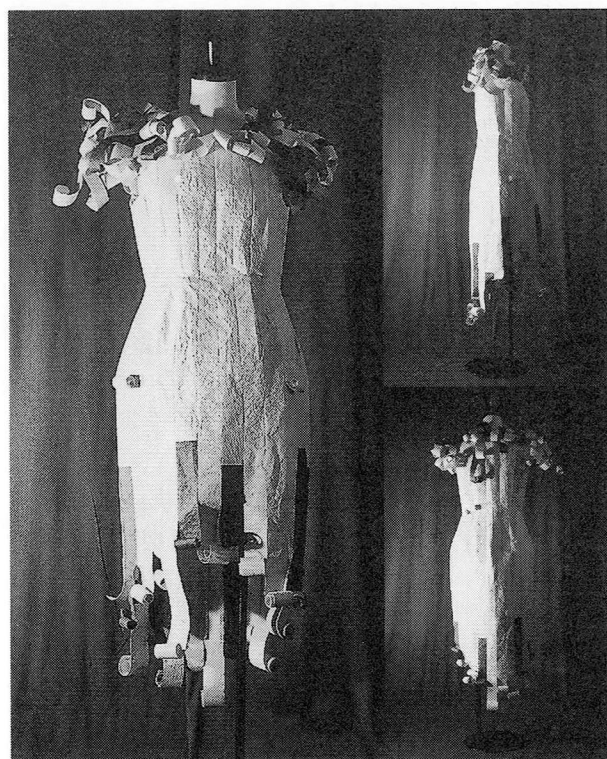


図4 作品B写真

■ 作品B ■

■ 平面の紙をくると曲げ、カールさせるとリズミカルな立体となる。また、細長い紙を曲げてよじり、からめ合うようにとめるとランダムな曲面の集まりが生じ、有機的な立体を形作る。そして変化のある華やかなフォルムとなる。

そのような“Courbure — 曲げる”造形効果を服飾作品の上で表現した。

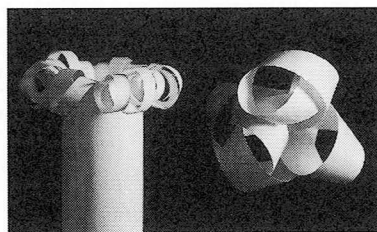


図5 作品Bアイデアソース

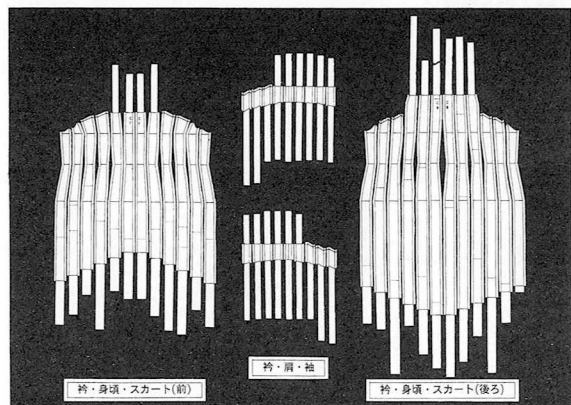


図6 作品Bパターン

■ 材料

和紙（生成）[93×56cm]：4枚

和紙（茶）[93×58cm]：1枚

和紙（えんじ）[93×58cm]

：1枚

コンシールファスナー [70cm]

：1本

絹ミシン糸 [50番]